



TECHNICAL DATA

DAI NIPPON TORYO CO.,LTD.
OSAKA,NASU,KOMAKI

整理 No.

施 工 要 領 書

レジガードSDシステム

(柔軟形ふっ素樹脂塗料仕上げ)

大日本塗料株式会社

構造物塗料事業部

1. 施工仕様

レジガードSDシステム（柔軟形ふっ素樹脂塗料仕上げ）の施工仕様は別添仕様書の通りです。

2. 施工要領

2. 1 素地調整工

- (1) コンクリート面のレイタンス、塩分、油脂、湿気、水分、その他の塵埃や異物を完全に除去し、塗膜の接着に適した素地状態に調整します。
- (2) 突起物や段差等は動力工具や手工具を併用して平滑にします。
- (3) 油脂分の付着がある場合は、シンナーをしみ込ませたウエスで丁寧に拭き取ります。
- (4) 全表面を処理した後、ブラシ、ホウキ、エアブロー等で被塗面を十分清掃します。
- (5) なお、特に粉塵等を防止する必要がある場合は、バキュームブラストまたは集塵サンダー等を用いて素地調整を行います。

2. 2 コンクリート片はく落防止対策工

(1) パテ・含浸接着剤塗布（レジガードボンドSD）

- ①主剤：硬化剤の比率＝100：50（重量比）で調合後、電動攪拌機等を用いて均一な状態になるまで十分に混合・攪拌します。
- ②最初に、材料をローラー、コテ、ヘラで適量塗り付けた後、コテ、ヘラにて不陸、巣穴および段差等を平滑にします。
- ③塗布量が1.40kg/m²となるように均一に塗布します。
- ④含浸接着剤を調合後は可使用時間（20℃の場合60分）以内に使いきって下さい。
- ⑤塗布完了後は直ちに次工程に移ります。



(2) ナイロン2軸メッシュシート貼付 (KSMシート)

- ① 構造物の形状に応じて、予めナイロン2軸メッシュシートを貼り付けやすい寸法に裁断しておきます。
- ② シートに歪みや浮きが生じないように注意して貼り付けた後、ローラー、コテ、ヘラ等を用いて含浸接着剤がシート表面に浮き出すまでしごき付け、シートを完全に隠蔽させます。隠蔽が不十分な場合は更に含浸接着剤を塗布します。
- ③ シートの重ね合わせは10cmを標準とし、重ね合わせ部にも適用(0.50kg/m²程度)の含浸接着剤を塗布します。
- ④ 貼り付け完了後は16時間～7日(20℃の場合)の間に次工程に移ります。

(3) 中塗塗布 (レジガード#200EH中塗)

- ① 主剤：硬化剤＝90：10の比率(重量比)で調合後、電動攪拌機等を用いて十分に混合・攪拌します。さらに、レジガードシンナーBで塗装作業に適した粘度になるよう希釈(0～5重量%)します。
- ② 狭隘部およびエッジ部は刷毛またはローラーにて先行塗装します。
- ③ 目標乾燥膜厚(160μm)を確保するために、標準塗布量が0.35kg/m²となるよう留意して刷毛またはローラー塗装します。
- ④ 塗料を調合後は可使用時間(20℃の場合4時間)以内に使いきって下さい。
- ⑤ 補修塗装を行う場合には塗布完了後12時間～10日(20℃の場合)の間に行います。この塗装間隔を越えると付着不良が生じることがありますので、必ず規定時間内に塗り重ねを行って下さい。規定間隔を越えた場合はサンドペーパー等にて目荒らしし、さらにシンナーを含ませたウエスで拭いてから補修塗装を行います。

(4) 上塗塗布 (レジガードSFクリーン上塗)

- ① 主剤：硬化剤＝80：20の比率(重量比)で調合後、電動攪拌機等を用いて十分に混合・攪拌します。さらに、Vフロン#100H上塗用シンナーで塗装作業に適した粘度になるよう希釈(0～8重量%)します。
- ② 狭隘部およびエッジ部は刷毛またはローラーにて先行塗装します。
- ③ 目標乾燥膜厚(30μm)を確保するために、標準塗布量が0.12kg/m²となるよう留意して刷毛またはローラー塗装します。
- ④ 塗料を調合後は可使用時間(20℃の場合8時間)以内に使いきって下さい。
- ⑤ 補修塗装を行う場合には塗布完了後12時間～7日(20℃の場合)の間に行います。この塗装間隔を越えると付着不良が生じることがありますので、必ず規定時間内に塗り重ねを行って下さい。規定間隔を越えた場合はサンドペーパー等にて目荒らしし、さらにシンナーを含ませたウエスで拭いてから補修塗装を行います。



3. 注意事項

- (1) 素地調整の良否は塗膜の付着性等、塗膜の耐久性に大きな影響を与えますので、コンクリートの素地状態に応じた素地調整方法を適用して下さい。
- (2) コンクリート表面および工程間の塗装面の付着塩分量が $100\text{mg}/\text{m}^2$ を越える場合には、 $100\text{mg}/\text{m}^2$ 以下になるまで水洗を行って下さい。付着塩分が $100\text{mg}/\text{m}^2$ を越えると、塗膜の層間剥離の原因となります。
- (3) 高湿度等（ $85\%RH$ 以上）、降雨、降雪時又は、塗膜の乾燥過程で高湿度になる恐れのある時は、作業を中止して下さい。
- (4) 環境及び被塗物温度が 5°C 以下の時、又は、塗膜の乾燥過程でその恐れのある時は作業を中止して下さい。
- (5) 混合後の塗料は可使用時間内に使い切して下さい。
- (6) 塗料の希釈率を厳守して下さい。
- (7) 各工程毎の塗装間隔を厳守して下さい。
- (8) その他不明な点がある場合は、別途お問い合わせ下さい。